

平成 28 年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

I 委託事業の内容

1. 研究開発課題名

DESTINATION デザイン！

アジア経済圏におけるファッション産業集積拠点「福岡」の成長を担う専門的職業人「Kブランド人材」の育成

～高度な資質・能力を育む産学接続型教育プログラムの開発を通して～

2. 研究の目的

ファッション界で新たな価値を生み出す基盤となる高度な資質・能力の育成を図るために、産業界、大学等と連携・協働することにより、産学接続型教育プログラムを開発し、グローバル社会に対応した教育課程の充実を図る。

それにより、アジア経済圏に位置する福岡を拠点として、福岡ブランドを国内外へ発信する地元ファッション産業の成長を担う専門的職業人（Kブランド人材）を育成する。

さらには、卒業後の次のステージ（進学・就職）へ確実に繋ぎ、最終的には高い知識・技術を身に付けた人材が福岡へ凱旋し、ファッションリーダーとして第一線で活躍することを目指す。また、ファッション界に挑戦していく人材輩出の好循環を生み出し、ファッション産業の一大拠点化を目指す福岡県の取組を、優れた人材の確保・育成の面から後押しする

3. 実施期間

契約日から平成 29 年 3 月 15 日まで

4. 当該年度における実施計画

鋭い感性や豊かな創造力などの高度な資質・能力を身に付け、グローバルな視野を持って福岡から“クールジャパン”を発信する人材を輩出するため、福岡商工会議所等の協力機関と連携・協働の在り方について協議を開始するとともに、以下の学習プログラムの開発及び目標に対する効果測定の方法に関する研究を行う。

ア【福岡発ファッションイベント企画・運営実習】

（目標）福岡商工会議所など地元産業界や大学等と連携・協働して、“ファッション産業発信の街福岡”の成長戦略として実施される「ファッションウィーク福岡」などのイベントに参画する企画・運営実習や、オリジナルファッションショーを実施し、産業としてのファッションについて理解を深め、ビジネスに繋げる視点を加味したクリエーション能力の育成を目指す。

〔「ファッションウィーク福岡」実習〕

○11月：専門家を招聘した特別授業（3年生）

○11月～2月：ステージ発表（ファッションショー）の企画・提案（3年生）

○3月：ステージ発表の運営（3年生）

関係科目：「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾手芸」

協力機関：福岡アジアファッション拠点推進会議（「ファッションウィーク福岡」主催者）
香蘭女子短期大学（共同提案）

実施場所：本校、福岡市天神地区

設備・機器：3DCAD、プリンター、プロジェクター、

〔オリジナルファッションショー実習〕

○5月：パーソナルカラー、ウォーキングの特別授業（3年生）

○6月：ファッションショー（本校文化祭）（全学年）

○9月：ファッションショー（近隣ショッピングセンター）（3年生）

○10月：ファッションショー（博多秋祭り）（3年生）

○10月：3DデータCADによる製作について特別授業（2年生）

○1月：ファッションショー（香椎宮）（3年生）

○2月：色彩の特別授業（1年生）

○2月：ファッションショー（博多阪急）（3年生）

○3月：ウォーキングの特別授業（1,2年生）

○3月：3DデータCADによる製作について特別授業（2年生）

関係科目：「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾手芸」「生活産業情報」

協力機関：香蘭女子短期大学（専門家の派遣）

博多阪急、株式会社イオン、博多部まちづくり協議会、香椎宮（会場等提供）

実施場所：本校、博多阪急百貨店、イオンモール香椎浜、承天寺、香椎宮

設備・機器：3DCAD、プリンター、プロジェクター

〔「福岡アジアコレクション」実習〕

○12月：アジアコレクションに出品するトップデザイナーを招聘した特別事業（全学年）

○3月：国際ファッションイベント（福岡アジアコレクション）の運営業務体験（1,2年生）

関係科目：「ファッション造形基礎」「ファッション造形」「ファッションデザイン」

「生活産業基礎」「生活産業情報」

協力機関：福岡アジアファッション拠点推進会議（「福岡アジアコレクション」主催者）

実施場所：本校、福岡国際センター

設備・機器：3DCAD、プリンター、プロジェクター

〔高校生対象職業理解推進講座〕

○7月：リーダー候補生徒10名を選考し講座に派遣（1,2年生）

関係科目：「ファッション造形基礎」「ファッション造形」「ファッションデザイン」

「服飾文化」「服飾手芸」「生活産業基礎」「生活産業情報」

協力機関：文化服装学院生涯学習センター（講座主催者）

実施場所：同上（東京都渋谷区）

イ【世界のファッション文化を学ぶ海外研修】

（目標）我が国固有の美の文化や英語に関する学習の成果を基盤として、現代のファッション界におけるデザインや流行の中心であるヨーロッパのファッション文化に直に触れる学習活動を実施し、日本では感じる事ができない世界水準の最先端ファッション文化について理解を深め、革新性の高い創作活動につながる感性や能力の育成を目指す。

〔ヨーロッパ研修〕

○1月：（2年生）

「アントワープ王立芸術大学での学習・交流活動」

世界的に活躍するデザイナーを数多く輩出している大学を訪問し、ヨーロッパデザインに関する特別講義や、在籍する各国の学生との意見交換会を実施。

「アムステルダム・インターナショナル・ファッションウィークでの学習・交流活動」

世界から若手デザイナーが集いショーや展示などが行われる最高峰のファッションイベントに参加し、最新ヨーロッパファッションに直に触れるとともに、若手デザイナーやモデル、ヘアメイク、生地メーカーなど関係者との交流会を実施。

「作品発表に向けた素材の調達」

上記の学習の成果を活かし、プログラム終了後に本校で実施する発表会やファッションショー等で発表する作品の素材（生地ほか）調達を、芸術大学の学生と一緒に現地で行うとともに、東京都日暮里繊維街でも併せて行う

関係科目：「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾手芸」「服飾文化」

協力機関：アントワープ王立芸術大学（特別講義の実施、会場等の提供）、ファッションウィークネイザーランド（「ファッションウィークアムステルダム」主催者）

実施場所：ベルギー、オランダ 各会場

〔世界のファッション文化学習会〕

○11月：ヨーロッパ研修の事前指導として、ファッションの専門家による特別授業（2年生）

関係科目：「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾手芸」「服飾文化」

協力機関：文化服装学院（専門家の派遣）

実施場所：本校

設備・機器：プロジェクター

ウ【郷土の一級品に触れる実習・体験活動】

（目標）福岡はもとより九州が誇る郷土の多種多様な伝統工芸や地場産業に直に触れる実習や体験活動を実施し、それらの背景となる考え方や価値観等について理解を深め、多様な「美」の文化を柔軟に受け入れる能力の育成を目指す。

〔日本文化学習〕

○10月：日本の美の文化やアジアとの交流史等に関する特別授業（2年生）

関係科目：「服飾文化」
協力機関：九州国立博物館（特別授業の実施）
実施場所：同上（太宰府市）

〔博多織実習〕

○11月：博多織に関する特別授業（2年生）
関係科目：「服飾手芸」
協力機関：博多織工業組合（特別授業の実施）
実施場所：本校
設備・機器：プロジェクター

〔和装コーディネート実習〕

○12月：和装コーディネート等に関する特別授業（1年生）
関係科目：「生活産業基礎」「ファッションデザイン」
協力機関：博多呉服商組合「呉服のたかはし」（特別授業の実施）
実施場所：同上（福岡市）

〔色絵磁器創作実習〕

○11月：「色鍋島今右衛門」の美に関する特別授業（1年生）
関係科目：「ファッションデザイン」
協力機関：色鍋島今右衛門（特別授業の実施）
実施場所：同上（佐賀県有田町）

〔久留米絣 染めと織りの体験〕

○7月：久留米絣に関する特別授業（1年生）
関係科目：「生活産業基礎」
協力機関：久留米絣織元「森山絣工房」（特別授業の実施）
実施場所：同上（福岡県広川町）

エ【English for fashion students】

（目標）大学・短期大学等と連携して「ファッション英語」のカリキュラム開発及び授業研究に取り組み、実践的な英語力向上のための授業を体系的に実施する（「業界でよく使う英単語100選」の習得等）。あわせて、イングリッシュキャンプでの交流等を実施し、ファッションに関する英語を理解し、英語でアウトプットすることができる能力の育成を目指す。

〔ファッション英語〕

○4月～3月：1学年の指導カリキュラム及び教材の開発（1年生）
○7月：英語教育の専門家を招聘した研究授業（1年生）
○12月：英語教育の専門家を招聘した研究授業（1年生）
○2月：英語教育の専門家を招聘した研究授業（1年生）

関係科目：「英語表現Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅰ」

協力機関：西南女学院大学（専門家の派遣）

実施場所：本校

設備・機器：プロジェクター

〔ファッション版イングリッシュキャンプ〕

○9月：海外ファッション専門家の英語による特別授業やファッション専攻留学生等との交流等（2,3年生）

○10月：海外ファッション専門家の英語による特別授業やファッション専攻留学生等との交流等（1年生）

関係科目：「英語表現Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」

協力機関：香蘭女子短期大学（特別授業の実施、会場等の提供）

実施場所：同上（福岡市）

設備・機器：プロジェクター

5. 評価方法

（1）定性的な評価

それぞれの事業で設定した目標に対して、当研究により生徒がどのように成長したかを評価する観点（評価項目）とその評価基準の設定について、有識者の助言を得て段階的に研究を進め、ルーブリック等による客観的な評価方法の確立を図る。

また、生徒による自己評価（満足度・達成感）、協力機関の専門家による生徒評価、担当教諭による行動観察などにより、生徒を多面的に捉えた評価を行う。

（2）定量的な評価

ファッション産業で活躍できる資質を身に付けたかどうかの指標として、ファッションに関する高度資格の取得率を指標とする。具体的には、色彩検定（文部科学省後援）1級、ファッション販売能力検定（日本ファッション教育振興会）2級の取得率70%を目指す。

また、【English for fashion students】においては、パフォーマンステストによる継続的な評価を行うとともに、英検準2級程度以上の資格取得を指標とする。

6. 成果の普及

県内の関係機関や家庭に関する学科を設置する高校関係者、保護者、地域の方々等を対象に、「SPH実践報告会」を実施し、研究の実践や成果を発表する。また、県内専門高校の生徒・教員が一堂に集う「県高校生産業教育フェア」において、生徒による研究発表を実施するなど、研究成果の普及を図る。

さらに、県産業教育振興会家庭部会が開催する研修会や、全国高等学校長協会家庭部会被服・服飾デザイン系高等学校長会総会・研究協議会において研究概要及び成果等を発表し、県はもとより全国の家庭科教員への普及を図る。

7. 実施体制

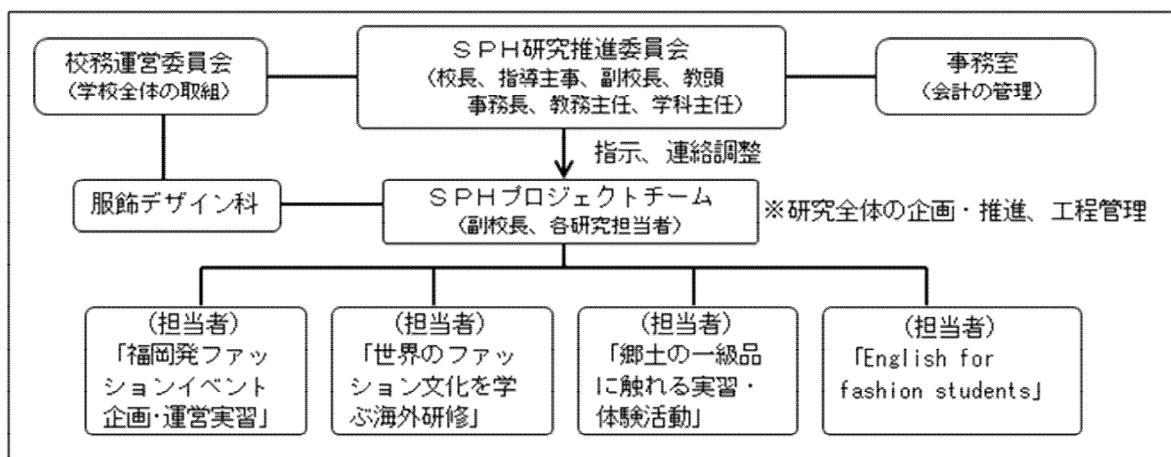
(1) 研究担当者

氏名	職名	役割分担・担当教科
松尾 勝之	主幹教諭	全体総務・教育課程、数学
西島 美加	教諭	総務・外部協力機関、家庭(学科主任)
玉田 美香子	教諭	「English for fashion students」担当、英語
西嶋 祐子	教諭	「郷土の一級品に触れる実習・体験活動」担当、家庭
下山 清美	教諭	「世界のファッション文化を学ぶ海外研修」担当、家庭
世良 香	教諭	「福岡発ファッションイベント企画・運営実習」担当、家庭
山口 詩織	講師	「郷土の一級品に触れる実習・体験活動」担当、家庭
上田 玲華	実習助手	「福岡発ファッションイベント企画・運営実習」担当、家庭

(2) 研究推進委員会

氏名	所属・職名	役割・専門分野等
田中 眞太郎	香椎高等学校・校長	研究の管理運営
石田 亮子	教育庁高校教育課指導主事	研究の助言及び評価
稲富 勉	香椎高等学校・副校長	研究の企画及び運営
市場 敏彦	香椎高等学校・教頭	研究の推進及び工程管理・校務全般
田原 玲子	香椎高等学校・事務長	研究の会計管理
松尾 勝之	香椎高等学校・主幹教諭	研究の推進及び工程管理・教務全般
西島 美加	香椎高等学校・教諭	研究の推進及び工程管理・家庭科

(3) 校内における体制図



8. 研究内容別実施時期

研究内容	実施時期											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
○「ファッションウィーク福岡」実習									企画・提案			
								特別授業				運営
○オリジナルファッションショー実習		特別授業					特別授業					特別授業
		ファッションショー					ファッションショー				ファッションショー	

○「福岡アジアコレクション」実習								特別授業				実習	
○高校生対象職業理解推進講座				派遣									
○ヨーロッパ研修										研修			
○世界のファッション文化学習会								特別授業					
○日本文化学習								特別授業					
○博多織実習								特別授業					
○和装コーディネーター実習										特別授業			
○色絵磁器創作実習								特別授業					
○久留米絣 染めと織りの体験										特別授業			
○ファッション英語	指導カリキュラム及び教材の開発												
								研究授業				研究授業	研究授業
○ファッション版イングリッシュキャンプ													イングリッシュキャンプ

※実施時期は、事業計画書提出時のものであり、実際の事業着手は契約締結後とする。

9. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	業務項目

10. 知的財産権の帰属

※ いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意のこと。

- () 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。
 (○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

11. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有・無

※有の場合、別紙3に詳細を記載のこと。

II 委託事業経費

別紙1に記載

III 事業連絡窓口等

別紙2に記載